

# 令和7年度 学校報 No42



# 心ひとつに

校訓 心ひとつに 明日を拓く  
教育目標「気づき 考え 行動する」  
生徒の育成

美郷町立美郷中学校  
令和8年3月12日

文責：校長 美郷中HP⇒



## 第14期生卒業証書授与式 ～星凜学年129名旅立つ～



3月7日(土)は、第14期生卒業証書授与式が行われ、星凜学年129名が本校を旅立ちました。

担任の点呼に続き、校長が卒業生一人一人に卒業証書を手交しました。校長式辞では、星凜学年の学校生活、生徒会活動、部活動等での頑張りが活躍を称賛するとともに、これからも「感謝する心」「コミュニケーションする力」を大切にしてほしいと饒のメッセージを送りました。

〇〇〇〇町長からは「福寿草は発芽した後、花をつけ、その後に葉が育つ。他の花とは生育の順番が違っても変わらず美しい。人間も成長するタイミングはそれぞれ違っても、しっかりと成長する場面がくる。花が咲くには、栄養・光・温度の三つの要素が必要だが、自分が成長した時に栄養・光・温度に当たるものは何である

るか考えてほしい。」とお祝いの言葉をいただきました。

送辞では、現生徒会長の〇〇〇〇さんが「星凜学年の皆さんに美郷中生としてどうあるべきかを、様々な場面を通して示していただいたことへの感謝、在校生が伝統を引き継いでいくことの決意」を心を込めて述べました。答辞では、前生徒会長の〇〇〇〇さんが「かけがえのない3年間であったこと、後輩へのエール、先生方・保護者・仲間への感謝、未来に向けた決意」などをあふれる感情を抑えながら語りました。全校合唱「いのちの歌」、3年生合唱「3月9日」、校歌合唱などの美しいハーモニーが会場を包み、万感の思いがこみ上げる感動的な式となりました。

門送りでは、生徒玄関前で、在校生応援団が、最後の学活を終えた卒業生にエールを送り、卒業生からも在校生へエールが返されるなど、最後まで心温まる交流が繰り広げられました。

星凜学年の返事や歌声をはじめとする卒業式に向かう姿勢は、義務教育の集大成にふさわしく大いなる成長を感じました。また、式における在校生の態度、事前の清掃や式場準備から撤去までの作業への姿勢も素晴らしく、卒業生への感謝の気持ちと伝統を受け継ぐ気概が感じられました。

